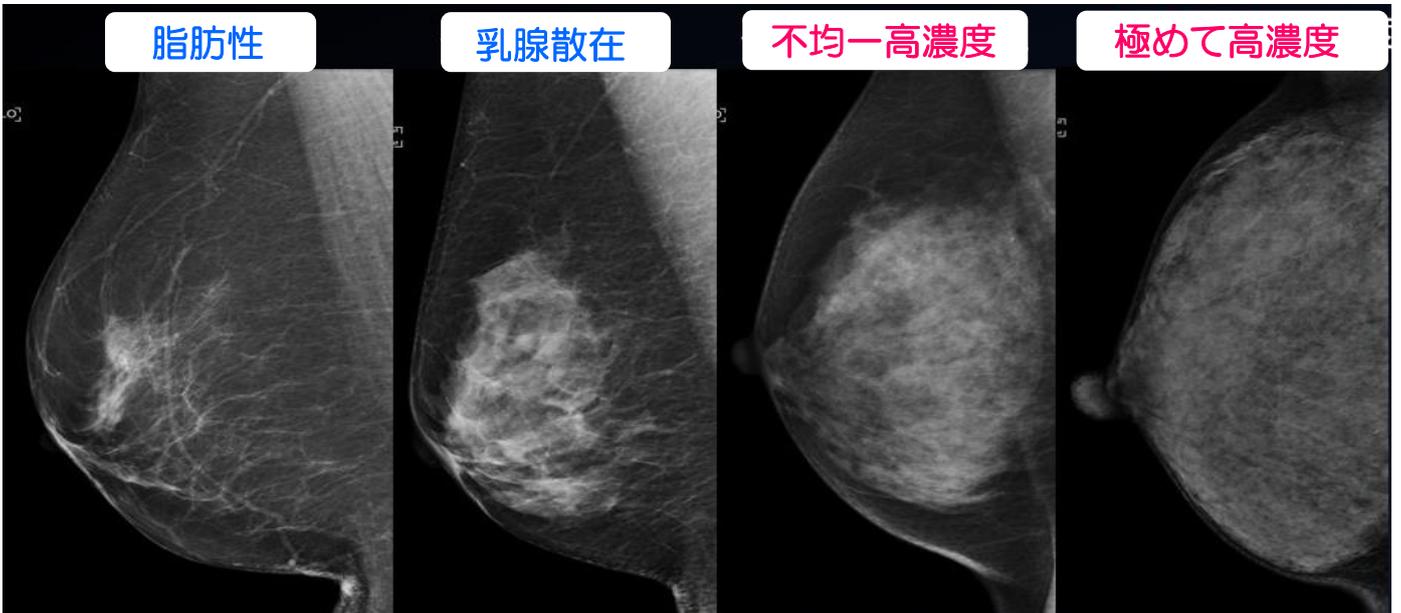


# 総合判定について

乳房は、乳腺と脂肪の割合により、4つのタイプに分類されます。



その中でも、**不均一高濃度**と**極めて高濃度**は**デンスブレスト(高濃度乳房)**と言われており、アジア人女性や**50歳以下の約70%**は、デンスブレストとされています。

マンモグラフィ検査では、乳腺実質は白く描出され、デンスブレストの人ほどその白さは強い傾向にあります。しかし、乳腺腫瘍も白く写るため、乳腺の白さの程度により**本来発見しなければならない腫瘍が乳腺に重なり、隠れてしまう可能性が高くなります。**

超音波検査は、マンモグラフィ検査が苦手とするデンスブレストの中にある腫瘍を見つけることを得意とし、反対に、マンモグラフィ検査は超音波検査が苦手とする脂肪の多い乳腺の中の小さな腫瘍を見つけることが得意です。

マンモグラフィ検査と超音波検査では検査により、発見しやすい病変が異なるため、当院では日本乳癌検診学会が推奨している【総合判定】を取り入れ、**診断能向上**に努めています。

